

協議会の活動

活動紹介

企画から訪問まで、「行きたい！」「会いたい！」を実現する「三陸沿岸を訪ね、復興の姿を知る」三陸沿岸学び旅・交流プログラム 開催レポート



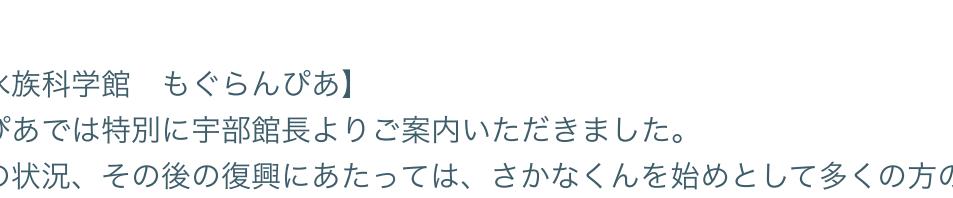
「新しい東北」官民連携推進協議会では、今年度も、岩手県を拠点とする協議会の副代表団体等（岩手県、岩手大学、岩手銀行、いわて連携復興センター及び復興庁）による意見交換会を実施しています。

意見交換会では、震災から12年が経過する中で、震災後にあつた内陸部から沿岸部への支援や交流の減少や、特に若年層における震災の記憶の風化という状況を踏まえ、特に若い方々を対象として「沿岸と内陸を繋ぐ」ことを取組んできました。

本年度は、一度、内陸の若く力ある三陸沿岸の復興の姿や魅力を知っていただくことを目的として、県内外の大学生や若手社会人から参加者を募り、参加者から三陸沿岸の事業者とも懇談しながら、オリジナルの三陸沿岸ツアーや考査、訪問するという企画を実施しています。

本稿では、11月25日（土）26日（日）に、実際に大学生・若手社会人の7名が三陸沿岸部を旅したたま、この旅の模様をレポートします。

＜＜旅の企画～事前ワークショップの開催～＞＞



旅の企画のため、10月14日（土）に岩手県公会堂地下の若者力カフェ（盛岡市）にて事前のワークショップを開催しました。【基点エリア】：宮古・釜石エリア・【大船渡・陸前高田エリア】という3つのエリアについて、それぞれの地域の現地ガイドや、その魅力や訪問先候補を紹介。その後、参加者の皆さんに「行きたい」という企画を選び、各エリアごとのツアーコースを検討していただきました。

ツアーコースにはそれぞれの地域の事業者と参加者との間でオンラインの打ち合わせを行い、さらに体験した感想を深めています。

※（参考）いわて若者カフェ <https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/seishounendanjo/wakanmono/1004957/1004959.html>

こうして出来上がったのが以下の3つのコースです。訪問場所を参加者の感想も交えてご紹介します。

＜＜久慈エリア＞＞



【エリア概要】

連続テレビ小説「あまちゃん」でも登場した「北限の海女の町」である久慈は、国内最大の琥珀の生産地としても有名です。

「三陸ジオパーク」のジオサイトが点在する自然豊かな地域ですが、東日本大震災では多くの建物が全壊する被害に見舞われました。現在は復興への歩みを着実に進めています。今回は3名の参加者が久慈エリアを巡りました。

【道の駅 青の国ふだし 周辺散策】

久慈チームは、久慈駅から三陸沿岸で普代駅へ移動し、道の駅ふだし周辺の散策からスタートしました。道中で、地域おこし協力隊の中村さんが、自身で作られた野菜などをアピール商店街で販売されているところに遭遇。中村さんが育てたお野菜で作った豚汁をいただきながら、有機農業の取組みを学びました。

（参考）岩手県普代村総合観光サイト 青の国ふだし <https://aonokuni.jp/>

【体験田たのネットワーク 番屋エコツーリズム体験】

・大津波語り部＆ガイド
事前の計画ではさっばか船体験を予定していましたが、荒天により体験不能に…。代わりとして、語り部さんに震災前と直後、そして現状の街並みの変化や、震災当時の様子を解説していただきました。

・塩づくり体験
番屋の塩作りの歴史から作成方法まで説明を聞き、海水を煮詰めるための薪割りから、塩を乾燥させ工程まで体験しました。一般的な食塩との味比べも面白かったです。

（参考）番屋エコツーリズム <https://tanohata-taiken.jp/>

【久慈琥珀博物館】

久慈と言えば、やはり琥珀。久慈琥珀博物館では琥珀の歴史や久慈琥珀の希少性を学ぶことが出来ました。また、世界唯一の見学用琥珀坑道を見学し、実際の採掘作業を疑似体験しました。

（参考）久慈琥珀博物館ホームページ <https://www.kuji-co.jp/museum>

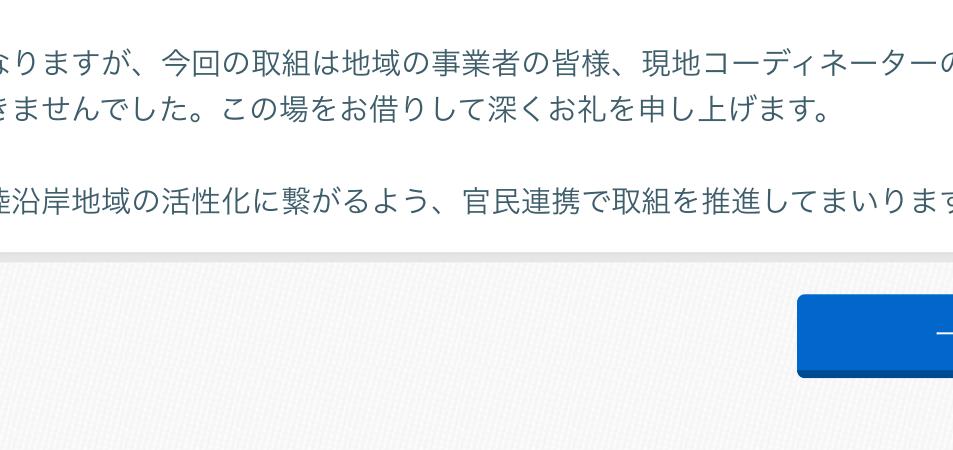
【久慈地下水族館】

もちろんひあでは特別に水族館よりご案内いただきました。

震災当時の状況、その後の復興があたっては、さかなくんを始めとして多くの方の支援があったこと、再建には震災の教訓が活かされていること等について詳しくご説明頂いたほか、南部ダイバーの実演も見学出来ました。

（参考）久慈地下水族館 もぐらんびあホームページ <https://www.mogurania.com/>

＜＜大船渡・陸前高田エリア＞＞



【エリア概要】

陸前高田市は、東日本大震災の津波で市の中心部に壊滅的な被害を受けましたが、その後復興した市には「奇跡の一木松」がシンボルとして残り、復興まちづくりが進んでいます。隣接する大船渡市は自然豊かな地域で、釜石海岸は景勝地として有名です。2名の参加者がこのエリアを巡りました。

【釜石駅 周辺散策】

新花巻から釜石駅に到着後、漁港、防波堤まで歩き、復興の様子を伺いました。昼食には昔から地域の鉄工所の工具や漁港関係者に愛されてきた「釜石ラーメン」をいただきました。

（参考）釜石観光物産協会公式サイト 釜石の観光 かまび <https://kamishi-kankou.jp/>

【鐵道アーチ】

三陸鉄道リアス線で折笠まで移動し、折笠漁港まで歩きました。この地域はアニメ映画『『さすめの戦』』の重要な場面で登場し、聖地巡礼スポットにもなっています。漁港前の展望広場には映画にも登場した「おひるぬき戸」のオブジェ、『聖地巡礼』の聖地巡礼スポットとして有名です。

（参考）一般社団法人 釜石市観光協会 <https://www.oshikata-tourism.jp/>

【発酵バーカー】

・鶴来の発酵バーカーを訪ねて、お土産を購入しました。

震災当時の状況、その後の復興があたっては、さかなくんを始めとして多くの方の支援があったこと、再建には震災の教訓が活かされていること等について詳しくご説明頂いたほか、南部ダイバーの実演も見学出来ました。

（参考）発酵バーカーCAMPYホームページ <https://camocy.jp/>

＜＜陸沿岸地帯活性化ミーティングの開催～＞＞

【エリア概要】

陸前高田市は、東日本大震災の津波で市の中心部に壊滅的な被害を受けましたが、その後復興した市には「奇跡の一木松」がシンボルとして残り、復興まちづくりが進んでいます。隣接する大船渡市は自然豊かな地域で、釜石海岸は景勝地として有名です。2名の参加者がこのエリアを巡りました。

【橋の里・大船渡ガイド】

・大船渡語り部＆ガイド
事前の計画ではさっばか船体験を予定していましたが、荒天により体験不能に…。代わりとして、語り部さんに震災前と直後、そして現状の街並みの変化や、震災当時の様子を解説していただきました。

・塩づくり体験
番屋の塩作りの歴史から作成方法まで説明を聞き、海水を煮詰めるための薪割りから、塩を乾燥させ工程まで体験しました。一般的な食塩との味比べも面白かったです。

（参考）番屋エコツーリズム <https://tanohata-taiken.jp/>

【発酵バーカー】

・鶴来の発酵バーカーを訪ねて、お土産を購入しました。

震災当時の状況、その後の復興があたっては、さかなくんを始めとして多くの方の支援があったこと、再建には震災の教訓が活かされていること等について詳しくご説明頂いたほか、南部ダイバーの実演も見学出来ました。

（参考）発酵バーカーCAMPYホームページ <https://camocy.jp/>

＜＜旅の振り返り～振り返りミーティングの開催～＞＞

【エリア概要】

陸前高田市は、東日本大震災の津波で市の中心部に壊滅的な被害を受けましたが、その後復興した市には「奇跡の一木松」がシンボルとして残り、復興まちづくりが進んでいます。隣接する大船渡市は自然豊かな地域で、釜石海岸は景勝地として有名です。2名の参加者がこのエリアを巡りました。

【橋の里・大船渡ガイド】

・大船渡語り部＆ガイド
事前の計画ではさっばか船体験を予定していましたが、荒天により体験不能に…。代わりとして、語り部さんに震災前と直後、そして現状の街並みの変化や、震災当時の様子を解説していただきました。

・塩づくり体験
番屋の塩作りの歴史から作成方法まで説明を聞き、海水を煮詰めるための薪割りから、塩を乾燥させ工程まで体験しました。一般的な食塩との味比べも面白かったです。

（参考）番屋エコツーリズム <https://tanohata-taiken.jp/>

【発酵バーカー】

・鶴来の発酵バーカーを訪ねて、お土産を購入しました。

震災当時の状況、その後の復興があたっては、さかなくんを始めとして多くの方の支援があったこと、再建には震災の教訓が活かされていること等について詳しくご説明頂いたほか、南部ダイバーの実演も見学出来ました。

（参考）発酵バーカーCAMPYホームページ <https://camocy.jp/>

【協議会の活動】

・活動紹介
・特集記事サイト

協議会の活動

【活動紹介】

企画から訪問まで、「行きたい！」「会いたい！」を実現する「三陸沿岸を訪れ、復興の姿を知る」三陸沿岸学び旅・交流プログラム

開催レポート

【特集記事サイト】

【協議会の活動】

・活動紹介
・特集記事サイト

【協議会の活動】

・活動紹介
・